

内田義雄



一般社団法人
地域ルネッサンス創造機構【シンクタンク・ザ・リバーバンク】
設立1周年記念講演&チャリティディナーショー

講演 鉞子 世界を魅了した「武士の娘」の生涯

3月25日、同名の著書が講談社より刊行されました



世界を魅了した「武士の娘」の生涯 内田義雄 講談社

1902年頃シンシナティにて、鉞子30歳、長女花野3歳、「アルバム ETSU」より。「鉞子」及び「Etsu Sugimoto」の字は鉞子の自筆。

「長岡出身でありながら、杉本鉞子を知りなかつたことを恥ずかしいと思った」と正直に話す内田義雄さんは、NHKで主に国際報道番組の企画制作に携わり、退職後もフリーのプロデューサーとして、「海外に出て人生が変わり日本を変えた幕末明治の群像」を描くミニシリーズ「世界

と出会った日本人」の企画制作に当たっていた(2008〜9年NHK総合テレビ「プロジェクト・ジャパン」の関連番組として放映。大久保利通、新渡戸稲造など25人を取り上げた中に、大山捨松、津田梅子、山田わかかの3人の女性が入っていた。すると、会津藩家老の



1920〜27年鉞子が日本語と日本の歴史の講義をしていたコロンビア大学(筆者撮影)



「武士の娘」に出てくる婚礼の「七返り半の使者」の扮装をした若き鉞子。撮影年代不明。(「アルバム ETSU」より)

左：「武士の娘」初版(1925年)(長岡市郷土史料館、筆者撮影)。
中：20歳前後の鉞子。アメリカにいる未来の夫・杉本松雄(松之助)に送った写真だろうか。(雑誌「ASIA」より)。
右：ニューヨークの鉞子と近所の友人(1920年代前半、「武士の娘」執筆当時)(「アルバム ETSU」より)。

内田義雄 講演会

主催：一般社団法人 地域ルネッサンス創造機構【シンクタンク・ザ・リバーバンク】
日時：平成25年6月1日(土) 午後4時受付開始～4時30分開始～5時30分終了予定
会場：ホテルニューオータニ長岡 NC ホール
入場料：1,000円(チケット制)

娘・大山(旧姓山川)捨松の曾孫に当たる、日米協会理事の久野明子さんが不満を述べられた。「なぜ女性はたった3人なのか」と。内田さんは「いろいろ調べたのですが企画に合う女性がいな

いのです」と答えたという。久野さんは「まだいるはずだ。『武士の娘』を書いた杉本鉞子とか」とおっしゃった。それから内田さんは、鉞子が自身の郷里である長岡出身であることを知り、何がなんでも書かねばならないと、心に決め、猛然と調べ始めた。「戦総指揮官リンカーン・アメリカ大統領の戦争」(文春新書)を書き、それまでのリンカーン像を一変させた力量を発揮し、杉本鉞子の、世界に通じる普遍性や、時代背景をヴィヴィッドに描きだし、鉞子の知られざる実像をはつきりと浮かび上がらせたのである。

ここに、渾身の心をこめて、この記念講演を企画させて頂いた次第です。お聴き逃しのなきように、お越しくださいますようお願い申し上げます。

お申し込み…ハガキ
|| 内田義雄と明記の
うえ、人数、お名前
ご住所・電話番号を
記入して左記へ
〒940-1006 長岡市大手通1丁目4番地7 ツルヤビル4F 株式会社GFN内(リバーバンク)宛
FAX || 裏面の申し込み書をご利用ください。
お申し込み締切…5月15日(水)
お問い合わせ…☎090-1694818309 (中島)

